

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 12日(金) PM19時00～21時00		
市町村名	豊科町	グループ名	
メンバー	(:司会、 :記録者)		
<p>建設費に1km当たり30億円から50億円もかかる道路が果たして必要かどうか疑問。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国も県も財政難と言われている折、このように膨大な税金を(われわれが払った税金を)道路建設にかけてほしくない。 ・これだけのお金があるなら、もっとわれわれの生活に密着したことや、福祉にかかわるもの(年金、保険など)に使ってほしい。 <p>大町以北の生活道路の確保ということであるならば、既存の国道148号を拡張整備すればよい。南安方面は長野道もあるのでさらに高規格道路は必要ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白馬、小谷といった、地滑りや土砂災害の多い地域での高規格道路建設のような大規模な開発をすることには不安がある。 <p>現考案では、連絡道路は高架(盛土)になるとのことだが、アルプス山麓にそのようなものが建設されると、景観も損ね、安曇野のイメージが失われてしまう。</p> <p>大系線を充実させれば、自動車は減らせる。自動車が減れば道路は必要なくなると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラック輸送を鉄道の貨物輸送にもどす。 ・一両編成でもよいから電車の本数を増やし、スピードアップをはかり、他の線路との接続をよくすれば利用者は増加するのではないか。 ・都会では今日でも自動車よりも公共交通機関を利用している人の方が多い。電車やバスが充実していれば、自動車の必要がない。 <p>自動車社会にしてしまったのは国にも責任はある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国鉄を民営化し、赤字路線をどんどん廃止してしまった。 ・貨物操車場などになっていた国鉄用地を払い下げ、他の施設(マンションなど)にしてしまった。 ・民営バス路線も採算が取れないことを理由に廃止されてしまった。 <p>この道路は国営アルプスあづみの公園の開園には到底間に合いそうもないが、それでも建設するのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊科インターから既存の道路を経由して国営公園に行くとなれば、豊科町内の各道路は大変な混雑が予想される。豊科町は通過するだけで何のメリットもないのに、排気ガスや騒音の被害を最も多く受けることになる。国営公園がいやおうなしに開園するのであるなら、高規格道路の建設よりも先にこちらの対策をしてほしい。 ・同じ国や県の事業でありながら、『公園は公園』『道路は道路』といった縦割りの行政でよいのか。計画性や総合性が感じられない。 <p>大町以北の高規格道路にはこだわらず新設道路は必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大町以北の幹線道は現在国道148号一本しかない。災害等で大系線や148号が不便になると陸の孤島化してしまう。 ・既存の148号拡張整備のほうがバイパス建設の場合より補償などで経費はかかる。 ・大町以北だけ道路整備をしたところで、その前後の道路がなければ何もならない。堤防道路(オリンピック道路)を整備して、豊科インターから大町方面への道程を充実してはどうか。 			

第2回 意見交換会 要旨

開催日時	10月 12日(金) PM19時00～21時00		
市町村名	豊科町	グループ名	
メンバー	(:司会、 :記録者)		

安曇野の景観を守ることができる方法で道路を建設してはどうか。

- ・当面は国営公園には間に合わないとしても、公園が開園する以上、ある程度の道路の整備は必要ではないか。現状の道路状況では、交通量が増え、結局豊科町だけが迷惑することになるわけだから、松本インターから波田町を経由して(中部縦貫道を経由して)国営公園につながるルートは必要ではないか。さらに、大町以北につなげることで、大町以北の交通の便も改善できる。

大系線の充実や、貨物輸送の復活、民営バス路線の復活は現状ほとんど無理と思われる。

- ・鉄道輸送やバスが衰退したのは、国の責任もあるだろうが、目的地に直接行かれない不便があったからではないだろうか。貨物は最寄の駅から結局はトラックに積み替えなければ目的地には行かれないし、電車やバスも乗り換えが必要。便利な生活に慣れてしまったわれわれがこのような不便に耐えられるであろうか。
- ・人口密集地の都会と田舎とでは比較の対象にならない。田舎では自転車がなければ生活のできないところがほとんどではないだろうか。

「国営公園の開園によって交通量が増加し、排気ガスが増加することを豊科町の住民は我慢しろというのか」と言うが、自分も自転車を使っている限りは、被害者であると同時に加害者でもあることを考えてほしい。

- ・長野道が開通して、多くの人たちは、便利に利用しているはずだ。しかし、豊科インター付近は交通量が増え、排気ガスも年々増加している。また、騒音の被害も大きい。長野道開通以前よりこの付近に住んでいる人たちにしてみれば大変な迷惑となっている。しかし、そこに住んでいる限り我慢せざるを得ない。それが、現在の日本の交通事情の実態である。自分も自動車に乗っている限り、誰かに迷惑をかけているということを肝に銘じてほしい。